



薩摩川内市立水引中学校「学校だより」

# みずひき

〒899-1921 鹿児島県薩摩川内市水引町7602番地1

TEL:0996-26-2104 FAX:0996-26-3908

## 2月号

令和6年2月19日発行



水引中ホームページ・ブログのQRコード↑

## 学校のユニバーサルデザインとは？

校長 日高 正人

校庭の梅の花が咲き、桜の木の芽が大きくなる様子を見るといよいよ春も近づいてきていることを実感します。暦の上でも、旧正月を迎え、春の3か月間が始まったところです。3年生は、いよいよ公立学校の入学試験に向けて、気を引き締め、本番に向けて気合を入れて頑張っています。

さて、ミズバーサルデザインのもと、4月から学校運営に取り組んできました。このミズバーサルデザインとは、水引中学校区の「教育のユニバーサルデザイン化」を指しています。そもそも、「ユニバーサルデザイン」(以下UD)という言葉は1980年代に、自身も障害者であるノースカロライナ大学教授で建築家のロナルド・メイス氏が、バリアフリー(物理的な障壁だけでなく、社会的、制度的、心理的など広い意味での障壁を除去すること)により特別扱いされていることを嫌い、生み出したデザインコンセプトでした。「障害を除去すること」をコンセプトにするバリアフリーと「初めから全ての人々が利用しやすいようにデザインする」UDとは、混同されやすい言葉ですが、バリアフリーは、使わせる側、UDは使う側の視点という主体者の違いに大きな差があります。この考えを教育の場に持ち込んだのが、教育のUDであるミズバーサルデザインであり、教育の主体者を生徒に置いた教育コンセプトとなります。



Ronald Mace (1941-98)

主体者である生徒が学習しやすい学校(物理的)環境や人的環境を整え、授業の在り方を生徒主体で進めていくことが、現在取り組んでいる水引中のミズバーサルデザインです。私たちのころは、環境に生徒が合わせ、教師のやり方についていけないと叱られ、ついていけない者は、落ちこぼれとして特別指導を受けていたように思います。私を含め、当時の生徒は、「どうせ、私なんか。」などといった自己肯定感の低い発言も多かったように思いますが、これからは自己肯定感の低い発言を生徒の中からなくしていきたいと思っています。

教育のUDには、特別支援教育の視点が不可欠です。例えば、集中力を維持するため、教室前の黒板付近の掲示を排除する視覚刺激の調整などの物理的環境づくりや話し合い活動への参加や積極的な発言を促すための間違いを許す雰囲気づくり、肯定的な言葉掛けなど自己を肯定し、生徒同士が「支え合う・学び合う」ことのできる人的環境づくりなどがあります。また、どの教科でも目当てやまとめの際に、同じ印や色を使ったり、必ずその日の授業の流れを示して、今どこを学習しているかを提示して見通しを持たせたりするなど授業のUD化などがあります。いずれも、特別支援教育では、学習以前の環境調整として行われているもので、土台となるものです。このことによって、生徒たちは、周囲の環境を気にせず、積極的に話し合いの中で自分の意見を臆することなく言えたり、相手の意見を否定せずに吟味したりできるなど、学習に興味関心を持ち、主体的に取り組むことができるようになってきます。これに、学級ごとに指導を認知処理様式(継次処理・同時処理)や認知処理特性に応じて変えたり、生徒の実態に応じて個別の課題を用意したりする工夫などによって、「分かった」「できた」と感じる生徒が増え、授業のUD化が強化されていきます。

### 身近なUD

#### シャンプーとリンスのボトル

ボトルの側面にギザギザの刻みがついており、目をつぶっていても、触っただけでシャンプーとリンスを区別できるように工夫されています。これは花王が広めたもので、UDの代表例としてよく知られています。

講談社 SDG s by C-station HP より

さて、薩摩川内市は来年度から「教科指導と生徒指導の一体化」を推進していきます。生徒指導提要の「共感的な人間関係」「自己決定の場」「自己存在感」「安心・安全」の四つの指標に基づいて、授業にも生徒指導提要の発達指示的生徒指導の考えを取り込んでいくことになっています。ミズバーサルデザインでは、同じ取り組みをすでに始めていて、実践・検証しているところです。今以上に、生徒主体の学習環境を目指して、先生方と家庭と一緒に教育のUD化を進め、地域と一緒に水引中校区のUD化を推進できることを期待しています。

## 小学6年生体験授業・入学説明会

1月23日(火)、水引小学校6年生対象に、体験授業と入学説明会を行いました。

体験授業では、保体(向井教諭)、数学(竹ノ内教諭)、音楽(長崎教諭)、家庭科(永迫教諭)の授業を楽しそうに受けていました。積極的に発表・発言する児童がたくさんいて、授業を盛り上げていました。来年度、中学校に入学することを楽しみにしています。

入学説明会では、生徒会長の野間口大和さん、副会長の薬師寺莉央さん、書記の山本昊さんが、学校生活について説明しました。先輩らしい凛とした態度で説明しており、きっと小学生もあこがれをもったことだと思います。



体育の授業



入学説明会

## ふるさとコミュニケーション科発表会

2月10日(土)、「ふるさとコミュニケーション科」の発表会が中学校の体育館で行われました。

テーマは次のとおりです。

- 1年：ふるさとを学ぼう
- 2年：平和学習
- 3年：郷土の未来をみつめる

どの班も、よくまとめられていて分かりやすい発表でした。講評を行った市役所観光物産課 前菌武大さんからも「様々な視点があり、とても勉強になった」というコメントをいただきました。



## おめでとうございます

第66回 JA 共済 小・中学生書道コンクール  
入選 桐原 風凜 さん  
第63回新春書き初め会  
銅賞 桐原 風凜 さん  
青少年健全育成意見発表大会中学生部門  
川内ライオンズクラブ会長賞 野間口大和 さん

## 大正琴の授業

1月25日(木)、1年生の音楽の時間に大正琴の指導者の方が8人来られました。生徒にとっては、初めて触る大正琴で、最初は演奏に戸惑っていましたが、すぐに慣れ、上手に演奏をしていました。



## 鹿児島学習定着度調査結果

1月16日(火)17日(水)、1・2年生に実施した鹿児島学習定着度調査の結果(平均通過率、2月14日現在)です。

本校	国語	社会	数学	理科	英語
<b>1年</b>	<b>80.8</b>	<b>47.4</b>	<b>89.5</b>	<b>70.6</b>	<b>84.9</b>
地区	73.3	52.8	74.7	65.6	76.0
県	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0
<b>2年</b>	<b>63.4</b>	<b>50.9</b>	<b>58.4</b>	<b>65.6</b>	<b>66.4</b>
地区	64.7	66.3	66.8	66.0	69.7
県	65.6	62.3	68.6	66.9	71.4

1年生は「思考・判断・表現力の育成」、2年生は「基礎・基本の定着」が求められます。今回の調査結果を踏まえ、今後さらに向上させるため指導法改善に努めてまいります。

日	曜	3月の行事予定
5	火	公立高等学校一般入学者選抜(～6日)
8	金	1・2年学年末学級 PTA 学校保健委員会 青少年健全育成会講演会
9	土	3年生を送る会 弁当の日
11	月	卒業式予行
12	火	第77回卒業式
13	水	公立高等学校合格者発表
21	木	公立高等学校二次入学者選抜
25	月	修了式 離任式

3月9日(土)は「弁当の日」になります。生徒が、自分のお弁当を自分で作ってくる日です。「弁当の日」の目的は、「生徒の自立を促す」「自他の命を大切にする」「家族との絆を深める」「感謝の心を持たせる」等です。どんなお弁当を作ってくるのか、とても楽しみです。保護者の皆様、ご協力よろしくお願い致します。